

えにわし えにわこうえんいせき
恵庭市 恵庭公園遺跡 (登録番号 A-04-1)

調査理由：開発事業（住宅）

調査地：恵庭市恵南 6 番 82

調査主体：恵庭市教育委員会

調査期間：平成 26 年 5 月 13 日から 6 月 3 日

調査面積：178 m²

調査の概要

恵庭公園遺跡は、JR 恵庭駅から南に 1.5 km ほど離れたユカンボシ川の段丘上（標高約 35m）に位置しています。遺跡は、過去に 2 度発掘調査が行われています。恵庭公園内の湧水地に近い段丘には、今も擦文時代の竪穴住居のくぼみが約 30 個確認でき、このうち 1 個は昭和 38 年に北海道大学の長瀬利夫氏らにより発掘調査が行われました。平成 14・15 年には、遺跡内の最も下流側、ユカンボシ E1 遺跡と隣り合う区域で道路工事に伴う発掘調査が行われています。今回は、本遺跡の第 3 次調査となります。

今回の調査で見つかった縄文時代の遺構は、竪穴住居跡 3 軒、土坑 8 個、落とし穴 1 個、焼土 4 個があります。擦文時代の遺構は、土器集中が 1 か所あります。アイヌ文化期の遺構は、建物跡が 1 軒ありました。

遺物は、土器約 500 点、石器約 500 点など全部で約 1,100 点が見つかりました。土器は、縄文時代中期が大半を占め、その多くが中期中葉萩ヶ岡 2 式（約 4,400 年前）でした。そのほかに、縄文時代晩期後葉（約 2,400 年前）、続縄文時代後期後北 C2・D 式（約 1,700 年前）、擦文時代初頭北大Ⅲ式（約 1,400 年前）などの土器が出土しています。

縄文時代の 1 号竪穴住居跡と 2 号焼土は、伴出した土器から中期中葉萩ヶ岡 2 式期のものと推定できます。アイヌ文化期の 1 号建物跡は、平成 14・15 年の道路工事に伴う発掘調査で見つかった平地住居跡に付属する高床倉庫と考えられます。

恵庭市では縄文時代中期中葉萩ヶ岡 2 式期の住居跡はあまり確認されておらず、貴重な追加例となりました。

報告書は平成 27 年 3 月に刊行予定です。



恵庭公園 1 号建物跡

この遺跡についてのお問い合わせや恵庭市の遺跡をもっと知りたい方は

恵庭市郷土資料館

電話番号：0123-37-1288

所在地：南島松 157-2

開館時間：9:30~17:00、閉館日：月曜日・祝日の翌日・毎月最終金曜日・年末年始

<http://www.city.eniwa.hokkaido.jp/www/contents/1200034453965/index.html>